

看板完成！！



ペンキを塗ったり大変だったけど、無事完成☆
出来栄えに大満足！！



看板立て



みんなで、看板立てに行ったよ！！
穴を掘って埋めて完成★



成果と課題

(1) 成果

- 公園探検のねらいを、公園に行って「発見させる」「気付かせる」だけでなく、「どんな公園にしていきたいか」などの、児童の思いや願いにまで広げて考えさせていったので、探検後の話し合いでは「気づき」の質を高める思考活動にまで発展できた。
- 公園で遊び→楽しさを見つけ→ 気づいたことを言葉に表現し→思いや願いをどんな方法で伝えるか考え→立て看板を手作りし→自分たちの手で設置するという一連の活動の中で、「体験・思考表現・体験」を繰り返し、意欲を持続させることができた。また、看板を立てたことで地域の公園に対する愛着が深まった。
- 公園探検の単元の中に、もの作りを組み入れ、のこぎりやげんのうなどの道具を使う機会を設けたことは、様々な体験が不足している児童にとってたいへん意欲的な活動になった。
- 市役所公園緑地課の方や、児童に身近な大工さんなどのゲストティーチャーの活用が、指導過程の中で適切に行えた。
- 発表の機会を設け、自分たちの活動を「誰にどう伝えるか」工夫させることで、発表することが好きになり自信につながることができた。

(2) 課題

- 支援を必要とする児童が参加する学習時において、学習のルールをどう作っていくか、支援の方法を確認しあう必要があった。
- 1時間に6グループの発表は多すぎた。児童の集中力を踏まえ途中で意欲喚起の手だてを持つべきだった。
- 8か所の公園に探検を予定していたが、保護者のボランティアが集まらず、5か所しか実現できなかった。校外学習する際の引率人員の確保が難しくなってきた。